

# korekara

2011  
AUTUMN  
Vol. 11

# 災害に、強くなる。

korekara

都市局まちづくり広報誌「こゝから」Vol.11 2011年9月発行 編集・発行/さいたま市 都市局 都市計画部 都市総務課 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 TEL:048-829-1394 FAX:048-829-1979 E-MAIL/toshi-somu@city.saitama.lg.jp 制作/（株）メディア工房



工場跡地から生まれ変わったまち

## 日進東地区(北区)



### 一体感のあるまちなみのわけは

真新しさの残る日進駅北口から5分ほど歩くと、整然とした綺麗なまちなみが広がります。ここ日進東地区はかつて、一団の工場群が広がる工業専用地域でしたが、その工場が遊休状態となったことからまちづくりがスタート。平成15年に「日進工専地区街づくり協議会」が設立され、地元や事業者、市の連携により取り組みを進めました。その中で、色彩の調和や緑の生活環境の創造、水循環の再生などのテーマを定めた「まちづくりガイドライン」により、一体感のあるまちなみが整備されました。多くの住民でにぎわう姿からは、以前の工場地帯の面影は想像しづらいかもかもしれません。

### うねうねする公園!?

大きなマンションや開校まもない「つばさ小学校」に挟まれた緑の絨毯の大空間は、「うねうね公園」。その名のとおり、小高い丘やせせらぎがあるなど起伏に富んだ地形が特徴で、ユニークな遊具とあわせて、自由な発想で思いきり遊ぶことができそうです。プラザノース近接の「しましま公園」(北区宮原町)とあわせて、公園の“ハシゴ”をしてみるのもいいかも?



### 「korekara」編集後記

- ◆東日本大震災の揺れを今でも思い出します。早い時期に地震についての記事を作りたいと思っていました。学生提案の記事とともに11号を発刊。ホッとしています。(島崎)
- ◆年3回へ増刷となった「korekara」。ネタ出しや締め切りにさらに四苦八苦しつつ、まちづくりの情報をタイムリーに切り込んでお伝えしていきたいと思えます。(堀田)
- ◆今回初めて編集に携りましたが、写真1枚、文章1行決めるのがこんなに難しいとは思いませんでした。一人でも多くの方に手にとっていただけると嬉しいです!(後藤)

### ホームページへアクセスを!

「『korekara』WEBサイト」では、誌面の紹介のほか、編集のこぼれ話やまちづくりに関する話題などを随時更新中。ぜひご覧ください!  
また「korekara」は、皆さんの声を反映させた誌面づくりを目指しています。ご意見やご感想、ご要望などをぜひお寄せください。

■あて先:〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 都市総務課あて  
TEL:829-1394 FAX:829-1979  
Eメール:toshi-somu@city.saitama.lg.jp



さいたま市 korekara



問合せ

建築部 建築総務課  
☎048-829-1539

私たちが健康診断で自分の体の状態を知るように、住宅の状態も「耐震診断」で確かめてみませんか？

さいたま市では、旧耐震基準の時代に在来工法で建てられた木造住宅を対象に、無料で耐震診断員を派遣しています。耐震診断の助成制度は他の市町村にもありますが、無料で耐震診断員を派遣しているのは、県内ではさいたま市だけです。

では、耐震診断とはどんなことをするのか、現場に密着しました。

診断を行ったのは西区のNさん宅。昭和55年築の家に70代のご夫婦で暮らしています。東日本大震災を機に申し込みを決めたそうです。

耐震診断は間取りの確認から始まりました。設計図面を手に耐震診断員が各部屋を回り、壁の厚み、柱や梁、スジカイなどもチェックしていきます。一通り見終わると、屋根裏に上りました。当日は真夏日。屋根裏は屋外より暑く、耐震診断員は汗だくです。次はツナギに身を包んで床下にもぐり、ほふく前進しながら調査です。そのていねいな調査ぶりにNさんも感激。各所を撮影し、基礎や外壁も確認し約2時間後終了しました。報告書は後日届けられます。

ところで、新しい耐震基準の家なら安全かという点、必ずしもそうはいえませんが、家の強度は劣化具合や構造のバランス、地盤などに左右されます。築年数に関わらず、市で配布している耐震関係の資料を参考に、住まいを見直してみましよう。

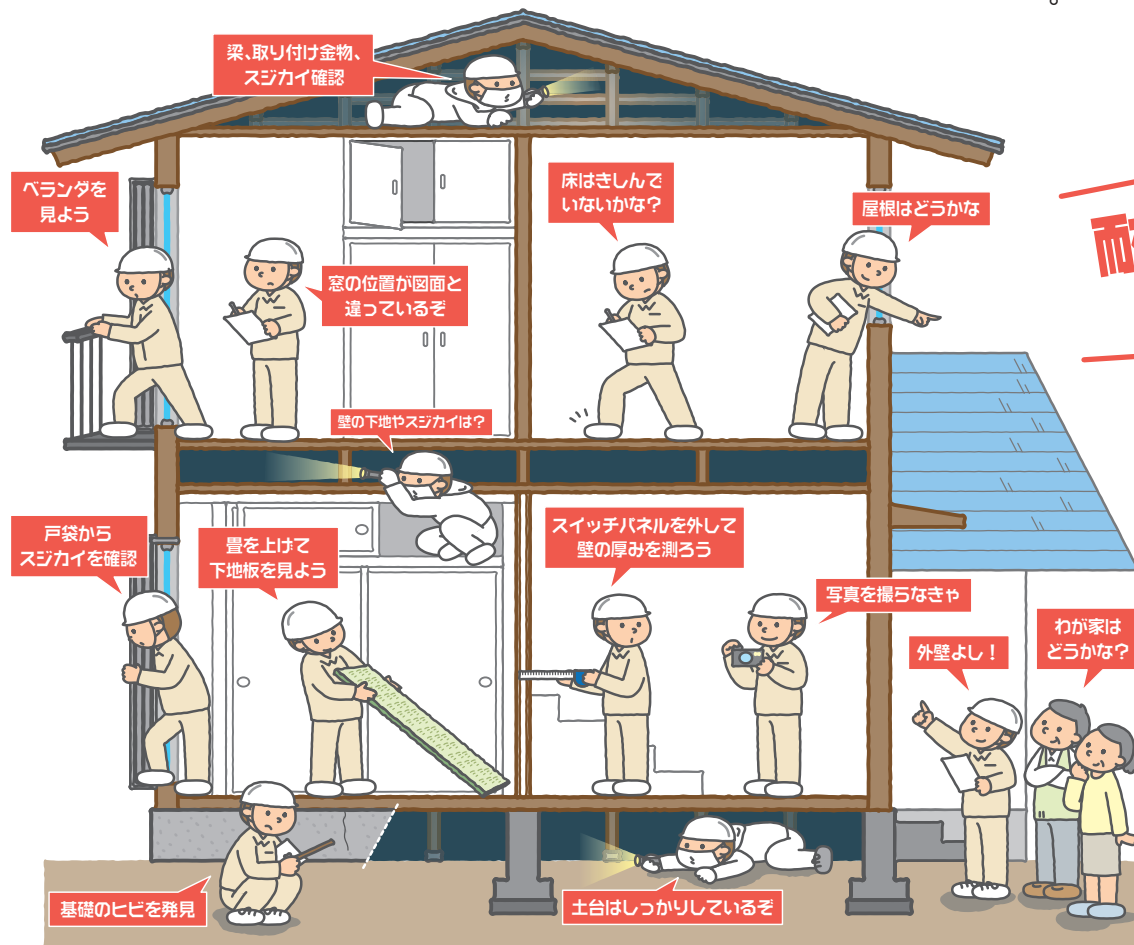
## 診断制度対象外の家も耐震性は要チェック！

東日本大震災から6か月が過ぎました。地震をきっかけに防災意識が高まった人も多いと思います。地震はいつどこで起こるかわかりませんが、関東では数十年以内にマグニチュード7.3の東京湾北部地震が起こる確率が高いといわれています。阪神・淡路大震災では、犠牲者の死因のうち9割近くが、建物や家具類の倒壊によるものでした。大地震のとき、私たちが家の中で命を落とさないためには何に留意し備えるべきか、考えてみませんか。

## 旧耐震基準の住宅に無料耐震診断を実施

さいたま市では、旧耐震基準の時代に在来工法で建てられた木造住宅を対象に、無料で耐震診断員を派遣しています。耐震診断の助成制度は他の市町村にもありますが、無料で耐震診断員を派遣しているのは、県内ではさいたま市だけです。

## 耐震診断はこのような行われます



### 家主 Nさんの声

無料なのでちょっと簡単な調査かと思いましたが、本格的で驚きました。漠然と不安を感じていた家の状態を具体的に知ることができ、問題への対処法がわかってよかったです。先になるかもしれないですが、報告書を参考に、耐震工事で建て替えを検討したいと思っています。

専門家の方に  
見てもいえて満足！



▲報告書のサンプル。耐震診断は(財)日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「一般診断法」によって行われます。診断と耐震補強の提案のみで、工事の勧誘はないので安心です。

報告書は家の評点をはじめ、図面や写真と診断のポイントなどが記載され、20数ページにも及びます。それを耐震診断員が1項目ずつていねいに説明してくれます。報告書の最後には耐震補強案が提示されています。

※報告書完成までの日程やページ数は物件によって変わります。

1週間後…

報告書  
完成!!



### 耐震診断員の用語解説

- 【耐震診断員】 関係社団法人に所属する建築士で、さいたま市が発行する「耐震診断員証」を携帯しています。
- 【旧耐震基準】 建築基準は時代によって変わります。昭和56年6月1日に建築基準法が改正され、建物の構造基準が強化されました。それ以前に着工した住宅は旧耐震基準で建てられているため、耐震性が低い場合があります。
- 【耐震性】 耐震性の目安は、震度6強の地震に見舞われても倒壊しないレベルであること。報告書の総合評価の「上部構造評点」が1.0以上であれば一応倒壊しないといわれていますが、旧耐震基準のほとんどの家は1.0未満です。
- 【住宅耐震化のための助成制度】 診断で耐震性が低いと判断された住宅の補強工事、建て替え、耐震シェルター設置に対して、市が費用の一部を助成する制度があります。事前に申請が必要です。

# 耐震診断

東日本大震災から6か月が過ぎました。地震をきっかけに防災意識が高まった人も多いと思います。地震はいつどこで起こるかわかりませんが、関東では数十年以内にマグニチュード7.3の東京湾北部地震が起こる確率が高いといわれています。阪神・淡路大震災では、犠牲者の死因のうち9割近くが、建物や家具類の倒壊によるものでした。大地震のとき、私たちが家の中で命を落とさないためには何に留意し備えるべきか、考えてみませんか。





## 非常持出品の準備を！

自力で生活することを考えて

避難するときには、必要なものを素早く持ち出せるよう、非常持出袋を目に付くところに備えておくことが大切です。  
2、3日は自力で生活することを考えて、水は1人1日3ℓが目安です。状況によっては、毛布やタオルなども役に立ちます。

非常時 持出品リスト	 飲料水	 食料品	 医薬品
 現金	 印鑑	 預金通帳	 保険証
 懐中電灯	 ラジオ	 乾電池	 ゴミ袋
 衣類 (下着、雨具 やタオルも)	 家族の写真 (離れ離れに なったときに 役立ちます)		

## 避難場所はどこ？

学校を中心とした公共施設を指定

災害時の避難場所として、学校を中心とした公共施設252か所が指定されています。震度5弱以上の地震や風水害などの災害が発生した場合、原則として1施設5名の担当職員を配置して、避難場所が開設されます。

避難場所には、非常食のアルファ米や毛布、簡易トイレといった生活に必要なものの備蓄を行っています。

最寄りの避難場所については、さいたま市のホームページ「防災気象情報」で確認できます。



▶避難場所である小中学校などに、防災倉庫を設置しています。

## さいたま市「地震マップ」

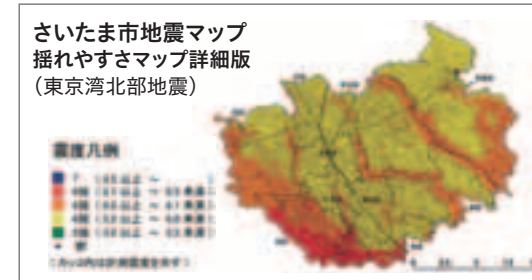
揺れやすさや危険度が一目でわかる

首都圏直下で発生する、マグニチュード7程度の地震の一つとして考えられているものに、東京湾北部地震があります。発生確率は、今後10年以内に30%、30年以内に70%、50年以内に90%と予測されています。

さいたま市では、こうした大地震を想定して、揺れの大きさを表した「地震マップ」を作成しています。

このほか、想定される地震別に示した揺れやすさマップや、液状化危険度マップも掲載されています。

地震に備え、被害を軽減するためにぜひご利用を！



▲地震マップは、各公共施設で配布されているほか、さいたま市のホームページ「防災気象情報」からも見ることができます。

問合せ/建築総務課 ☎829-1538

# いま知って おきたい！ “防災・減災・備災” するには？

近い将来、高確率で起こるといわれている大地震に備えるため、さいたま市では、前ページで紹介した耐震診断以外にもさまざまな取り組みを進めています。被害を最小限に留める「防災」や「減災」、さらに、あらかじめ災害への備えをしておく「備災」という観点から、身の回りの安心安全に関する情報をお知らせします。

## 震災に関する 不安や疑問…。

さいたま市では以前より、災害に強いまちづくりを目指し、避難路や退避場所にもなる道路の整備、施設や住宅の耐震化、避難スペースの役割も果たす公園の整備ほか、防災訓練の実施や地域住民による自主防災組織の育成強化などに取り組んでいます。そして現在も、東日本大震災による課題を踏まえ、「地域防災計画」の見直しを進めています。

しかし、身の回りの備えについてはまだまだ不安や疑問があるのではないのでしょうか。そこで、「防災・減災・備災」を考えてみませんか？

# お答えします！！

避難生活について、何を持って逃げたら良いのか迷う。

桜区  
女性52歳

最寄りの避難場所の知識がない。本当に、食料や毛布などが配布されるのか不安。

西区  
女性37歳

震災時は、都内で勤務中だった。その晩は、フロアで見つけた段ボールを敷き、コートや膝掛けを体に掛けて休んだ。

浦和区  
女性47歳

すぐ家族に電話をしたが繋がらなかった。自分の身の安全より家族を心配した。

南区  
男性31歳

どこの地域の住民が、どんな災害のときに、具体的にどんな行動をとったら良いのか不明瞭に感じる。

見沼区  
男性44歳

ハザードマップについて、もっと知りたい。

岩槻区  
男性66歳

## 家族の安否の確認方法

あらかじめ家族で話し合う

- 地震時に落ち合う場所をあらかじめ決めておく。
- 安否情報の取次ぎをしてもらえる親戚、知人など（遠方に住んでいる人であることが必要）を決めておく。

- NTT「災害伝言ダイヤル171」や、携帯電話会社の「災害用伝言版」の活用を家族で決めておく。

災害用伝言ダイヤルセンター



## 防災行政無線

災害時に情報を放送

防災行政無線は、市内の学校や公園など568か所に整備されています。

日常は、夕方の定時放送をはじめ光化学スモッグ注意報や警報の発令情報などの放送を実施していますが、災害発生時には、避難勧告や災害情報など、市民の皆さんに必要な情報が放送されます。



▲日常の音量が「中」とすると、緊急時には「最大」音量で放送されます。

## 職場の備え

職場に留まることも大切

東日本大震災でも体験したように、出勤や外出などをしているときに大地震が起きた場合は交通機関が途絶え、帰宅することが難しくなります。混乱を避けるためには、無理に家まで徒歩で帰ろうとせず、職場や近隣の施設などに留まることも大切です。

職場では、日ごろから地震対策について話し合い、懐中電灯や寝具、非常食や飲み水、発電機などを用意するほか、やむをえず徒歩で帰宅せざるを得ないのためにスニーカーや地図などを用意し、帰宅ルートを確認しましょう。

さいたま市では、帰宅困難者対策や被災地に対する広域的支援のあり方について九都県市首脳会議で提案し、防災や危機管理対策のさらなる充実と強化を図っていきます。

防災に関する詳しい情報は、さいたま市のホームページ「防災気象情報」に載っています。ぜひ一度、ご覧ください。

<http://bousai.city.saitama.jp/>

問合せ 危機管理部 防災課 ☎048-829-1126  
1127



# このようなまちに なってもらいたい!

## 学生がまちづくりを提案したら...?

さいたま市では、社団法人日本都市計画学会と合同で、大宮駅東口のまちづくりを考える「学生提案競技」を開催しました。鉄道や商業、氷川参道など首都圏有数のポテンシャルを持ちながらもさまざまな課題を抱えた地域を、若い世代はどのように感じ、どのような提案で切り込んでくるのでしょうか。



▲最優秀賞に輝いた、加藤さん、高取さん、村井さん、氏家さん(左から)。「まちの火約50人に直撃アンケートを行い、入念に調査しました。震災後は防災やエネルギー問題も考え、大宮というまちの本質と向き合いながら悩んだ半年間でした」。

## 最優秀賞

### おおみやびとの盆のまち (東京大学)

積み重ねた歴史に自然エネルギーを合わせて新しい都市構造をつくり、生活の舞台「盆」を演出します。

#### 「戦略」

- 1交通 駅の南北に改札を新設。レンタサイクルやカーシェアリングなどを推進して、人が流れる生活の「舞台」を演出。
- 2環境 東西の環境軸により、見沼からの風の流れを引き込み、災害時にも強靱でかつ快適な都市の「器」をつくる。
- 3文化 宿場町として歴史を重ねた街路や裏路地に、大宮の文化である漫画や鉄道を取り込んだ空間をつくり、おおみやびとの心が通う「家(盆)」を生み出す。

## リアルなまちを対象に 20年後の姿をイメージ

若い世代が新しい感覚でデザインする、将来のまちの姿とは……。訪ねたのは、7月に開催された「学生提案競技」の最終審査会。2030年の大宮駅東口から氷川参道までを含む約50haの地区を対象に、魅力あるまちづくりの計画を、未来を担う学生が提案するというものです。

この日は、全国17大学36作品の中から選ばれた、8作品のプレゼンテーションと審査が行われました。「氷川参道とまちなかの回遊性を高めながら、街路の要所に小広場を設けて賑わいのある空間をつくる」「人と車の流れを再構築して、不要となる駐車場に新たな森をつくりだす」「まちなかに沼を備えた『通り庭』を整備し、憩いの場とともに災害の拠点としての役割を持たせる」など、門前町として栄えた大宮の歴史や成り立ちをていねいに掘り起こし、この地域ならではの個性を考え、住む人にも訪れる人にも魅力あるまちの将来像について熱弁をふるいました。

## 路地裏のまちなみに魅了? 外からの若い視点に注目!

大宮駅周辺のまちづくりは現在、民間と行政が協働で取り組む「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」により進めています。学生の皆さんがどのように考えるか、若い視点や柔軟な発想も幅広く活用したいと求めたのが、この競技のきっかけです。

提案にあたり、学生たちは大宮のまちを熱心に歩き回り、地元の人にも話を聞くなど、念入りに調査を実施。その中でさまざまな課題を見出すとともに、「宿場町や商都、町割りなど、歴史の面影や風情がある」「通りから少し入ると路地があつて魅力」など、地元の人には新鮮に思える感想が次々に出てきました。

このように、あなたのまちでも視点を少し変えてみると、今まで気づかなかつた良さがきつと見えてくるはず。あなたなら、どのようなまちの姿をデザインしますか?

## 講評

- 熊本や京都など、全国各地から応募してくれたことに感激!
- 多くのグループが小規模駐車場に注目していること、そしてそれを資源として捉えていることに驚いた。
- もう少し、びっくりするような提案があつてもよかつたが、震災対策として、線路を整理して自動車専用道路にするというアイデアは斬新!
- コミュニティ、都市とは何か、震災以降問われている。地元の人賛同し、楽しいまちになりそうだ期待できる提案が大切。まちづくりを検討している団体にも、刺激になったと思う。



審査委員長の黒川先生 内藤先生 杉浦先生 久保田先生 中津原先生

## 地元から「通行人」

行政や専門家にはない、学生の柔軟な考え方が新鮮だった。緑の大切さ、安心安全なまちづくりという発想に共感。駅前には、シンボルツリーや憩いの広場がないですから。これからは、学生さんたちともミーティングをしながら、まちづくりを考えていきたい。



審査会を傍聴していた地元の方々

## 大宮のシンボルとなるような、 レンタサイクルシステムをデザインします。

首都大学東京の布川さん

レンタサイクルに企業の広告を載せて運営費を賄い、商店に個性的な駐輪場を併設。地元と外から来た人の新しいコミュニティを生み、駅周辺の放置自転車の減少につなげます。

## 車両の進入を最小限にして まちに屋根をかけます。

横浜国立大学の古賀さん

小駐車場をオープンスペースとして緑化するとともに、商店街だけでなく大宮駅や参道、小学校など、地域全体に屋根を張り巡らせて、まち全体がつながる公共空間を生み出します。

私たちは「通行人」

問合せ  
都市局 都心整備部  
大宮駅東口まちづくり事務所  
☎048-6446-3289